

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属		株式会社FOODSNOW				
役職		代表取締役				
氏名		平尾 由希	ふりがな	ひらお ゆき	生年	1978年
連絡先	住所	〒				
	電話		携帯電話		メールアドレス	① contact@foodsnow.jp ※(■を@に変えて下さい)

2. 経歴・取組内容、取組分野等


主な経歴・受賞歴	<p><経歴></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆お茶の水女子大学 生活科学部 人間生活学科 卒業 ◆NHK長崎放送局・NHK報道局テレビニュース部キャスターを経て独立 ◆株式会社FOODSNOWを設立 代表取締役に就任 <p>2022.3.25現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆日本米粉協会理事(設立～2021) ◆長崎県6次産業化プランナー(2019～)/日本橋長崎館商品選定委員・運営委員(2016～)/平戸市6次産業化アドバイザー(2019～) ◆総務省 過疎地域自立活性化優良事例表彰委員(2012～) ◆農林水産省 農泊専門家登録(2022～) <p><受賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和3年 グッドデザインアワード2021 地域の取り組み部門受賞(長崎県波佐見町地域内循環商品) ◆令和3年 長崎デザインアワード2021(波佐見陶箱クッキー) ◆令和4年 サステナアワード2022 消費者庁長官賞受賞(長崎県波佐見町の地域内循環の取り組み) 					
主な取組内容・実績等	<p><地域での取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆島根県益田市 「中世の食」450年記念事業「歴史」飲食店メニュー化支援/歴史弁当開発支援(2017年～) ◆長崎県波佐見町 「もてなす波佐見食」/6次産業化・廃石膏の農業利用支援/「陶箱クッキー」地域内循環プロジェクトデザイン(2017年～) ◆新潟県 「米粉商品導入促進事業」首都圏実需舎に対するメニュー開発支援(2018) ◆長崎県平戸市 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 世界文化遺産登録記念」お土産物開発支援(2019年) ◆山口県長門市俵山 「食べさん俵山」デザイン制作、地域経営会社の飲食店メニュー開発・「しし汁フリーズドライ」etc.商品開発支援(2020年～) ◆長崎県佐世保市 社会福祉法人の農福連携事業「にんにくsproutの水耕栽培とブランド化」支援(2020年～) ◆長崎県平戸市 ひらど新鮮市場「海の見えるごはん屋」メニュー・レシピ開発支援、メニューブック・HPデザイン制作(2021年～) ◆宮城県栗原市 農泊推進協議会の事業支援(農泊専門家派遣)、宿泊事業者の経営力強化支援(観光庁スペシャリスト派遣) <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆全農チキンフーズ 「全国絶品とり料理紀行」取材・執筆「お悩み解決レシピ」連載(2018～) ◆著書 「薬味の魔法」(主婦の友社)、「季節でいただく毎日薬味」(主婦の友社) 					
取組分野	1	観光振興	○	7	住民参加・協働	
	○	産業振興		8	イベント交流	
	○	過疎地域・限界集落の振興	○	9	食品流通	
		中心市街地活性化		10	環境	
		まちづくり景観		11	NPO・ボランティア	
	◎	農林水産品の開発・ブランド化	◎	12	その他(飲食店のレシピ・メニュー開発、各種デザイン制作業務)	

3. 関連ホームページ

名称	アドレス

4. ふるさと財団での実績	
外 活 部 用 専 助 門 成 家	2020年～21年度 長崎県波佐見町「地域循環モデル構築をベースとした地域価値創造事業」
外 部 短 期 専 門 診 断 家 派 遣	
地 域 ミ ナ 生 !	
そ の ほ か	

5. 財団報告書	
名称	アドレス
令和2年度 地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/R2houkokusyo.pdf

6. 写真・ひとことPR	
	<p>< ひとことPR ></p> <p>”All Foods have the own Stories” 「すべての食に物語がある」をモットーに、フードコーディネーター・6次産業化プロデューサーとして、地域の食や文化を活かした事業デザインだけでなく、レシピ・メニュー開発からオペレーション構築、製造フロー制作、各種販促物のデザイン制作などの実務まで、きめ細かに“地域のおいしいを形にする”お手伝いをしています。 地域の食のメニュー化、商品化はもちろん、食周りの地場産業商品(器・カトラリー・調理器具・調理家電)の開発や、地域全体の6次産業化も支援いたします。 コロナ禍で激減した飲みニケーションの場の復活を願いつつ、新たな食と地域の皆さんとの出会いを楽しみにしています。</p>